

作成：2023年7月29日

令和5年度CAD製図専門学校学校関係者評価について

【スケジュール】

- ★第1回評価委員会 9/14（木）13：00～14：30
CAD製図専門学校1号館1101教室
内容：令和4年度自己評価の説明と質疑応答
評価項目担当者決定
自己評価に係る調書閲覧
授業巡回施設見学

- ★第2回評価委員会 書面回答会議
9/25（月）～10/6（金）
内容：各評価表提出
→集計評価表送付

- ★第3回評価委員会 10/12（木）13：00～14：00
CAD製図専門学校1号館1101教室
内容：令和3年度学校関係者評価表の質疑応答
まとめ
授業見学

- ★第4回評価委員会 書面回答会議
10/23（月）～10/27（金）
内容：評価表最終決定承認

- ★CAD製図専門学校ホームページ公開 11/1（水）～11/10（金）

担当者：CAD製図専門学校
事務局 樋口圭子
higuchi@cadseizu.ac.jp
TEL：048-987-2711

令和5年度【学校関係者評価】

| 項目 | A | B | C | D |
|--|---|---|---|---|
| A：最良 B：良 C：可 D：不可・見直し | | | | |
| 教育理念目標人材育成 | | | | |
| 評価担当：阿部将利 | | | | |
| ①理念・目的・人材育成像は定められているか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切に定められている | | | | |
| ②人材育成像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか | | ○ | | |
| 《コメント》 方針は明確に定められているので、さらなる効率化が望まれる | | | | |
| ③理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切に取り組んでいる | | | | |
| ④社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | ○ | | | |
| 《コメント》 理事会・法人部・管理職会議を経て、社会のニーズを掌握し、適切な協議の上構想を練り、公開している | | | | |
| 学校運営 | | | | |
| 評価担当：阿部将利 | | | | |
| ①目的等に沿った運営方針が策定されているか | ○ | | | |
| 《コメント》 必要に応じ会議を行い、内容をメール等で周知されている | | | | |
| ②学則・細則・内規等は整備されているか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切に整備されている | | | | |
| ③人事・給与に関する制度を整備しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切に整備されているので、今後も継続して制度の見直しを図って頂きたい | | | | |
| ④意思決定システムを整備しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 必要に応じ、理事会含む各委員会が行われ、適切に整備されている | | | | |
| ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ○ | | | |
| 《コメント》 サーバー等のシステム化は適切に整備されているので、今後もさらなる効率化を含めて取り組んで頂きたい | | | | |

| 教育活動 | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 評価担当：上田誠治 | | | | |
| ①理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切に定められている | | | | |
| ②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか | ○ | | | |
| 《コメント》 個人差に対応するため授業にT Tを導入するなど、きめ細かなサポートが行われていることを評価したい | | | | |
| ③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切な教育課程編成になっている | | | | |
| ④教育課程について外部の意見を反映しているか・キャリア教育を実施しているか | | ○ | | |
| 《コメント》 外部の意見やどのようにキャリア教育が実践されているのかを具体的に明記した方がよいと思う | | | | |
| ⑤授業評価を実施しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 学生アンケートの実施、担当教職員へフィードバックを行い、改善等に努めるなど評価したい | | | | |
| ⑥成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 基準の明確化がなされている | | | | |
| ⑦目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか | ○ | | | |
| 《コメント》 適切に位置づけられている | | | | |
| ⑧資格・免許の指導体制はあるか | ○ | | | |
| 《コメント》 学生への教育指導は適切に行われている | | | | |
| ⑨資格・要件を備えた教員を確保しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 経歴書及び面接の実施等により、資格要件を備えた教員確保がなされている | | | | |
| ⑩教育資質向上への取り組みを行っているか | ○ | | | |
| 《コメント》 教員資質向上の取組が実践されており、評価したい | | | | |
| ⑪教員の組織体制を整備しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 定期的な教科会議が行われ、習熟度の進捗や学生の要望を共有し、対策を講じるなどの取組が実践されており、評価したい | | | | |

| 教育成果 | | | | |
|--|---|---|--|--|
| 評価担当：伊藤賀一 | | | | |
| ①就職率の向上が図られているか | ○ | | | |
| 《コメント》 就職率がCAD製図科 93%、留学生学科 77%と高い就職率を維持されていることは、企業からの評価が高いことを示していると判断 また、留学生学科の就職希望者が 386 名から 311 名（卒業生 425 名の 73%）と減少していることは懸念事項 | | | | |
| ②資格取得率の向上が図られているか | ○ | | | |
| 《コメント》 担当者によるサポートがあり、資格取得に対してきめ細やかな指導が可能となっている | | | | |
| ③退学率の低減が図られているか | ○ | | | |
| 《コメント》 日本に対する各種指摘がある中で、学校側の適切な指導・サポートがあり、中途退学者の低減が図られている模様 | | | | |
| ④卒業生の社会的な評価を把握しているか | | ○ | | |
| 《コメント》 卒業後の追跡調査は難しいものがある中で、企業との情報交換をされている社会的評価の尺度を決定され、確認事項とされるとA評価になると判断する | | | | |
| ⑤卒業生への支援体制を整備しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 CAD製図科学生には、学科長自らメール等を活用して支援を行っている | | | | |
| 学生支援 | | | | |
| 評価担当：伊藤賀一 | | | | |
| ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ○ | | | |
| 《コメント》 WEB説明会や面接会を学校側で整えて運営している | | | | |
| ②学生相談に関する体制は整備されているか | ○ | | | |
| 《コメント》 個別指導が必要と判断された学生には、学生・保護者と個別面談を実施している | | | | |
| ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | ○ | | | |
| 《コメント》 給付型奨学金制度の確立と、留学生学科の入学時減免制度の準備をされており、経済的支援につながっている | | | | |
| ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか | | ○ | | |
| 《コメント》 特に感染症対策として、授業開始前の健康観察・検温実施、発熱時の連絡徹底、出席停止判断と医療機関受診指導が行われている | | | | |
| ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか | | ○ | | |
| 《コメント》 感染症により引き続き中止としている | | | | |

| | | | | |
|--|---|--|--|--|
| ⑥保護者と適切に連携しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 保護者との面談が必要と判断された場合には、来校を促がし相談を行っている | | | | |
| 教育環境 | | | | |
| 評価担当：細川 威 | | | | |
| ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | ○ | | | |
| 《コメント》 機材の老朽化については計画的に整備することは評価できる PC、ソフトに関しては時代にあったものを購入することを期待する | | | | |
| ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 コロナ禍で関係機関との連携が難しかったと思うので、R5はしっかりと連携を取り学生にとって充実した校外学習を行ってほしい | | | | |
| ③防災に対する体制は整備し、適切に運用しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 緊急避難体制などを十分に整備されていると思うので、メンテナンス等を含めてしっかりと継続していただくことを望む | | | | |
| 学生募集受け入れ | | | | |
| 評価担当：細川 威 | | | | |
| ①学生募集を適切かつ効果的に行っているか | ○ | | | |
| 《コメント》 R4を含むこの3年間はコロナ禍で学生募集は大変苦労したかと思う HPの充実や入学説明会等の充実をさら期待する | | | | |
| ②入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 引き続き公平公正な入学選考を期待する | | | | |
| ③入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 引き続き授業改善を続けていただき、学生が学力にあった授業を受けられることを期待 | | | | |
| ④経費内容に対応し学納金を算定しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 | | | | |
| ⑤入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか | ○ | | | |
| 《コメント》 理事会における決算報告と承認を今後も充実したものにしてほしい | | | | |
| 財務 | | | | |
| 評価担当：田村正弘 | | | | |
| ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | ○ | | | |
| 《コメント》 コロナ渦の中、入学者が減少している状況においても現預金等の流動性資産は厚く、財務状況においては当面問題ない | | | | |

| | | | | |
|--|---|---|--|--|
| ②学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか | ○ | | | |
| 《コメント》 主な財務比率を算出するなど、過去5年間の財務状況を適正に比較・分析している | | | | |
| ③教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか | | ○ | | |
| 《コメント》 過去の実績からの予算策定も大切であるが、現場が実態に沿った予算の算出を実践することで、それに伴う効果がさらに期待できる | | | | |
| ④予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか | | ○ | | |
| 《コメント》 厳格なPDCAサイクルが実施され、予算意識・コスト意識の醸成が図られている。引き続き、現場からの予算検討・提出ができるよう組織一体となって取組してほしい | | | | |
| ⑤私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 関連法規に則って、適切な監査が行われている | | | | |
| ⑥私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 必要な情報については、適切に公開されている | | | | |
| 法令等遵守 | | | | |
| 評価担当：田村正弘 | | | | |
| ①法令や専修学校設置を遵守し適正な学校運営を行っているか | ○ | | | |
| 《コメント》 法令や設置基準の遵守については、各諸規則の全職員への説明・配布の実施。また各部署内で月例会議を実施するなど、学校運営に係る法令の理解と遵守は学内で浸透している | | | | |
| ②学校が保有する個人情報に関する対策を実施しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 個人情報の保管・管理は厳格に行われている 情報漏洩防止については、ペーパーレス化を推進 不要となった書類廃棄については業者選定を行い、厳格に廃棄している | | | | |
| ③自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか | ○ | | | |
| 《コメント》 自己評価については、自己評価委員会を組織し改善点を明らかにしている 令和3年度に発足した学校評価委員会からの助言を真摯に受け止め、対応をしっかりと行っている | | | | |
| ④自己評価結果を公表しているか | ○ | | | |
| 《コメント》 自己評価結果については、ホームページに公表するなど年々精度向上を図っている | | | | |

社会貢献・地域貢献

評価担当：阿部将利

①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

○

《コメント》

交通整理等の取組は実際に行っている事は大変重要であり、学校周辺は交通量が多い道路の為「学生だけではなく、近隣住民の安全」も含めて大変評価できる

②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

○

《コメント》

十分活動していると思われるが、今後も活発に自治体などの活動に参加して、定期的に学生さんにも学校周辺のゴミ拾いなどを行い、地域住民とのコミュニケーションも取ってほしい

国際交流

評価担当：阿部将利

①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか

○

《コメント》

受け入れ等の戦略は整備され実践されているが、日本人学生と留学生との学内交流の取り組みに関してもっと積極的に行ってほしい